

2月は、

- ① 主の奉献 (2日、ルカ 2, 22-32)
- ② 福者ユスト高山右近殉教者 3日(土)
- ③ 日本 26 聖人殉教者の祝日 5日(月)

④そして、典礼的には任意の日であり、2024年は主日にあたっていますが、全世界からキリスト者だけではなく、心身の“いやし”を求めて巡礼する「ルルドの聖母」、「世界病者の日」と過ごしていきます。この日に向けて教皇は、メッセージを発表されます。(11日、ごミサ中に病者の塗油の秘跡)

⑤14日の灰の水曜日から復活祭を準備する「四旬節」に入ります。灰の水曜日は、週日ですが、あらゆる他の祭典に優先される日です。この季節、教会が私たちに典礼を通じて提供する神のみ言葉は、非常に豊かなものです。ぜひ、み言葉に養われる四旬節でありますように。

⑥22日には、聖ペトロ使徒座の祝日を祝います。この日、キリスト者たちはバチカンの聖ペトロの墓とオスチア街道にある聖パウロの墓のそばで、二人の聖人を偲んで祈っていました。4世紀になると6月29日に両使徒を祝う祭日となったため、22日は聖ペトロが教会の礎であり最高の責任者として建てられた教会の一致のしるしとして祝うようになりました。そして、忘れてならないのは、洗礼志願者のことです。各教会の洗礼志願者のために特別に祈り、同時に、自らの洗礼の約束を更新する時ともいたしましょう。(Ludate 参考)



2月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
4	日	年間第5主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P4 平和を願う	9:00 ミサ 先読み: 多田 第1: トウイハン 第2: 安藤 答唱詩編: 三上夫妻 オルガン:
11	日	年間第6主日 司祭と召出を求めのために祈る日 世界病者の日	9:00 ミサ 先読み: 高塚 第1: 高塚 第2: 西川薫 答唱詩編: 間野/多田 オルガン:
14	水	灰の水曜日 大斎・小斎	18:00 ミサ
18	日	四旬節第1主日 病者と洗礼志願者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	9:00 ミサ 先読み: 多田 第1: 本田 第2: 高塚 答唱詩編: 安藤/高塚 オルガン:
25	日	四旬節第2主日 教会から離れた信者のために祈る日 P11 キリストの受難をしのぶ	9:00 ミサ 先読み: 高塚 第1: 多田 第2: 間野 答唱詩編: 三上夫妻 オルガン:
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 17:00、土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方はいません

◆お知らせ

- ・灰の儀式に使用するため各家庭に保存している しゅろの葉を 11 日までに持ってきてください。
- ・ロザリオ会は冬季 (11～3 月) 夜間の交通安全を考慮してお休みします
- ・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています

花当番	
3日(土)	古野
10日(土)	多比良

◆大齋と小齋

大齋とは、1日1回だけ十分な食事をとること、その他朝ともう1回「わずかな食事をすることができ満60歳までの全ての成年者が守ります。

小齋とは、肉を食べないことです。

◆幼稚園関連

- ・ 6日（火）火災避難訓練
- ・ 14日（水）お店屋さんごっこ
- ・ 19日（月）保育参観
- ・ 29日（木）2・3月生まれ誕生会、ひな祭り

教皇フランシスコ

生きておられるキリストからのメッセージを伝え、自己の召命に忠実であるよう青年キリスト者を励ますとともに、彼らに寄り添う立場の司牧者や信徒にも、その成長や活躍の障害や足かせになることのないよう貴重な示唆をなす。



『キリストに恋している若者は、自分の生活にかかわるあらゆる場所で福音をあかすよう求められています。聖アルベルト・ウルタドはいいました。「使徒であるということは、上着の胸元にバッジをつけていることではありません。真理について語るのではなく、それを生きること、具体的なかたちで表すこと、キリストのように自ら変えていくことです。使徒であるとは、その手にともし火をもっていることでも、後光に包まれていることでもなく、光となっている……ということです。福音は……教えというより手本です。経験される生へと変換されるメッセージです。」

あかしは、語らずに秘しておくから価値があるわけではありません。なぜイエスについて語らないのですか。このかたがわたしたちに生きる力を与えてくださることを、このかたと語らうのはすばらしいことだと、そのことばを黙想するのはよいことなのだと、どうしてほかの人に伝えないのですか。若い皆さん、この世に流されて、よくないことやどうでもいいことだけをシェアするようにはならないでください。時流に逆らえるようになりなさい。



イエスについて分かち合うすべを身に着けなさい。主が皆さんに与えた信仰を伝えなさい。聖パウロが「福音を告げ知らせないなら、わたしは不幸なのです」（コリント 9.16）といったときに、彼を突き動かしていたのと同じ抑えきれない衝動を、あなたも胸に感じることができますように。』

『原文はラテン語で、2019年3月25日』

